

患者さま

このアンケートは、あなたの生活のさまざまな側面における「健康」「幸福感」「満足感」にかんする情報を知るためにおこなうものです。

一部の質問には、少し時間を要するところもあるかと思いますが、十分に時間をかけてお答えください。

それぞれの質問項目のうえに説明文があります。アンケートに答える前に、その説明文をよくお読みください。

これらの質問には正解も不正解もありません。可能な範囲でお答えください。

同じような内容の質問が繰り返し出てくることもあるかと思いますが、すべての質問にどうかお答えくださいますよう、お願いいたします。

※アンケートには、ボールペンをお使いください。

誤って記入してしまった際には、斜線で消していただき、正しい答えを記入してください。

例： はい いいえ

このアンケートにおいて、患者さまに関する個人情報や秘密が守られること、そしてお答えいただいた内容は科学的目的のみに扱われ、評価されることを保証いたします。

ご不明な点がございましたら、遠慮なくお知らせください。

A. 健康および生活に関する意識

この項目は、あなたの健康状態、または日常の生活機能をどのように意識しているかをおうかがいするものです。

※ 各質問において、左側のセルほど、「良い」と感じている程度が高くなり、右側ほど、「良くない」と感じている程度が高くなります。

最もよくあてはまるところに☑をつけてください。

1. 全般的に、あなたの健康状態は？

最高に良い

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

良くない

2. あなたの日常の生活機能は、健康上の理由でさまたげられていますか？

ぜんぜん、さまたげられていない

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

非常に、さまたげられている

B. 疾患に関する項目 (SCQ)

以下のリストは、一般的な健康問題を示しています。

現在、あなたがその問題を抱えている場合には、「はい (Y)」に○をつけ、右の 2 つの質問にお答えください。問題を抱えていない場合には、「いいえ (N)」に○をつけ、次の問題リストに進んでください。

※ 2 番目の質問は、あなたが薬や他の治療を受けているかどうかをお伺いするものです。

※ 3 番目の質問は、あなたが抱えている問題が、生活のさまたげとなっているかどうかをお伺いするものです。

このリストにない健康問題がありましたら、このページの最後にある「他の健康問題」の欄にご記入ください。

問題がありますか？	
いいえ (N)	はい (Y)

薬や他の治療を受けていますか？	
いいえ (N)	はい (Y)

生活のさまたげとなっていますか？	
いいえ (N)	はい (Y)

心疾患	N	Y
高血圧	N	Y
肺疾患	N	Y
糖尿病	N	Y
胃潰瘍・胃の疾患	N	Y
腎臓疾患	N	Y
肝臓疾患	N	Y
貧血あるいは他の血液疾患	N	Y
がん	N	Y
うつ病	N	Y
骨関節症	N	Y
腰痛・背痛	N	Y
慢性関節リウマチ	N	Y

N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y

N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y
N	Y

他の健康問題

(以下に記入してください。)

1.
2.
3.

N	Y
N	Y
N	Y

N	Y
N	Y
N	Y

C. 健康状態に関する項目 (SF-36)

この項目は、あなたがご自分の健康をどのように考えているかをおうかがいするものです。あなたが毎日をどのように感じ、日常の活動をどのくらい自由にできるかを知るうえで参考になります。

以下のそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものに○をつけてください。

	最高に良い	とても良い	良い	あまり良くない	良くない
1. あなたの健康状態は？	1	2	3	4	5

	1年前より、はるかに良い	1年前よりは、やや良い	1年前と、ほぼ同じ	1年前ほど、良くない	1年前より、はるかに悪い
2. 1年前と比べて、現在の健康状態はいかがですか。	1	2	3	4	5

3. 以下の質問は、日常よく行われている活動です。
あなたは健康上の理由で、こうした活動をするのがむずかしいと感じますか。
むずかしいとすればどのくらいですか。

	とてもむずかしい	少しむずかしい	ぜんぜんむずかしいくない
a) 激しい活動、例えば、一生けんめい走る、重い物を持ち上げる、激しいスポーツをするなど	1	2	3
b) 適度の活動、例えば、家や庭のそうじをする、1-2時間散歩するなど	1	2	3
c) 少し重い物を持ち上げたり、運んだりする（例えば買い物袋など）	1	2	3
d) 階段を数階上までのぼる	1	2	3
e) 階段を1階上までのぼる	1	2	3
f) 体を前に曲げる、ひざまずく、かがむ	1	2	3
g) 1キロメートル以上歩く	1	2	3
h) 数百メートルくらい歩く	1	2	3
i) 百メートルくらい歩く	1	2	3
j) 自分でお風呂に入ったり、着がえたりする	1	2	3

4. 過去1ヵ月間に、仕事やふだんの活動をした時に、身体的な理由で次のような問題がありましたか。

	はい	いいえ
a) 仕事やふだんの活動をする時間をへらした	1	2
b) 仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかつた	1	2
c) 仕事やふだんの活動の内容によっては、できないものがあった	1	2
d) 仕事やふだんの活動をすることがむずかしかった（例えばいつもより努力を必要としたなど）	1	2

5. 過去1ヵ月間に、仕事やふだんの活動をした時に、心理的な理由で（例えば、気分がおちこんだり不安を感じたりしたために）、次のような問題がありましたか。

	はい	いいえ
a) 仕事やふだんの活動をする時間をへらした	1	2
b) 仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかつた	1	2
c) 仕事やふだんの活動がいつもほど、集中してできなかった	1	2

	ぜんぜん、 さまたげられ なかった	わずかに、 さまたげられ た	少し、さまた げられた	かなり、 さまたげ られた	非常に、 さまたげ られた
6. 過去1ヵ月間に、家族、友人、近所の人、その他の仲間とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらいさまたげられましたか。	1	2	3	4	5

	ぜんぜんな かった	かすかな 痛み	軽い 痛み	中くら いの痛 み	強い痛み	非常に激 しい痛み
7. 過去1ヵ月間に、体の痛みをどのくらい感じましたか。	1	2	3	4	5	6

	ぜんぜん、 さまたげられ なかった	わずかに、 さまたげられ た	少し、さまた げられた	かなり、 さまたげ られた	非常に、 さまたげ られた
8. 過去1ヵ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）が痛みのために、どのくらいさまたげられましたか。	1	2	3	4	5

9. 次にあげるのは、過去1ヵ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。

	いつも	ほとんどいつも	たびたび	ときどき	まれに	ぜんぜんない
a) 元気いっぱいでしたか	1	2	3	4	5	6
b) かなり神経質でしたか	1	2	3	4	5	6
c) どうにもならないくらい、気分がおちこんでいましたか	1	2	3	4	5	6
d) おちついていて、おだやかな気分でしたか	1	2	3	4	5	6
e) 活力（エネルギー）にあふれていましたか	1	2	3	4	5	6
f) おちこんで、ゆううつな気分でしたか	1	2	3	4	5	6
g) 疲れはてていましたか	1	2	3	4	5	6
h) 楽しい気分でしたか	1	2	3	4	5	6
i) 疲れを感じましたか	1	2	3	4	5	6

	いつも	ほとんどいつも	ときどき	まれに	ぜんぜんない
10. 過去1ヵ月間に、友人や親せきを訪ねるなど、人のつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらいさまたげられましたか。	1	2	3	4	5

11. 次にあげた各項目はどのくらいあなたにあてはまりますか。

	まったくそのとおり	ほぼあてはまる	何ともいえない	ほとんどあてはまらない	ぜんぜんあてはまらない
a) 私は他の人に比べて病気になりやすいと思う	1	2	3	4	5
b) 私は、人並みに健康である	1	2	3	4	5
c) 私の健康は、悪くなるような気がする	1	2	3	4	5
d) 私の健康状態は非常に良い	1	2	3	4	5

以上でこのアンケートはおわりです。ご協力ありがとうございました

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
吉川和男	第4章医療観察法-3通院医療・地域社会における処遇	坂田三充	精神看護エクスペール17精神看護と法・倫理	中山書店	東京	2006	93-101
安藤久美子・野田隆政・平林直次	心神喪失者等医療観察法	武田雅俊・鹿島晴雄	コア・ローテーション精神科	金芳堂	東京	2007	362-368
松本俊彦	第4章 犯罪・非行の個別的要因① パーソナリティ要因	藤岡淳子編	犯罪と非行の心理学	有斐閣	東京	2007	45-68
野口由香, 原井宏明, 岡嶋美代	行動療法1 エクスポージャーと儀式妨害.	原田誠一	強迫性障害治療ハンドブック	金剛出版	東京	2006	140-155
Harai, H	Termination with Japanese Clients, In A Clinician's Guide to the Theory and Practice of Termination in Psychotherapy	O' Donohue, W	Clinician's Guide to the Theory and Practice of Termination in Psychotherapy	Routledge	New York		in press

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
吉川和男	司法精神医療のあり方と今後の課題	司法精神医学	第1巻第1号	17-18	2006
吉川和男、山上皓	医療観察法制度の意義と課題	精神神経誌	108(5)	490-496	2006
吉川和男	攻撃性と司法精神医学—攻撃性の評価—	精神科治療学	21(8)	825-834	2006
松本俊彦, 岡田幸之, 千葉泰彦, 井筒節, 下津咲絵, 野口博文, 柑本美和, 菊池安希子, 吉川和男	若年男性における自傷行為の臨床的意義について: 少年鑑別所における自記式質問票調査	精神保健研究	19	59-73	2006

松本俊彦, 岡田幸之, 千葉泰彦, 安藤久美子, 吉川和男	破壊的行動障害の症状と反社会的傾向の関係—Psychopathy Checklist, Youth Versionと共分散構造分析を用いた研究—	犯罪学雑誌	72	135-146	2006
吉川和男	特集精神鑑定. 精神鑑定の対象となる「精神障害」	BAN (番)	12月号	14-16	2006
岡田幸之, 松本俊彦, 野口博文, 安藤久美子, 平林直次, 吉川和男	ICFの精神医療への導入 ICFに基づく精神医療実施計画書の開発	精神医学	49(1)	41-48	2007
吉川和男	司法精神医学と医療観察法制度—その意義と課題	OT作業療法ジャーナル	44(3)	180-187	2007
吉川和男	心神喪失者等医療観察法制度の実状と課題—入院および通院治療を中心に—	犯罪と非行	151	21-38	2007
Yoshikawa, K., Taylor, P. J., Yamagami, A., Okada, T., Ando, K., Taruya, T., Matsumoto, T., Kikuchi, A.	Violent recidivism among mentally disordered offenders in Japan	Criminal Behaviour and Mental Health	17		2007 (in press)
平林直次	わが国における司法精神医療の進め方—指定入院医療機関から—	司法精神医学	1(1)	26-33	2006
平林直次・安藤久美子	ケアマネジメント	臨床精神医学	35	513-518	2006
平林直次	医療観察法病棟の実際	こころの科学	132	47-52	2007
平林直次	入院患者にどのような医療を提供しているか	季刊 刑事弁護	49	107-111	2007
平林直次	医療観察法と入院医療	精神科	10(3)	印刷中	2007
山口亜希子, 松本俊彦	「学生相談」—事例と考え方—アルコール依存と薬物依存	臨床心理学	6	201-206	2006
小林桜児, 松本俊彦, 大槻正樹, 遠藤桂子, 赤木正雄, 木村逸雄, 上條敦史, 平安良雄	インククリーナー (1, 4-ブタンジオール) の乱用により一過性の幻覚妄想と強度の不眠を呈した1例	精神医学	48	677-680	2006

松本俊彦	青年期の薬物依存について. 特集—一般精神科臨床と児童精神科臨床の機能関係 I	精神科治療学	21	273-280	2006
松本俊彦	嗜癖の攻撃性と衝動性	精神科治療学	21	953-960	2006
Matsumoto T, Okada T	Designer drugs as a cause of homicide.	<i>Addiction</i>	101	1666-1667	2006
松本俊彦, 今村扶美, 吉澤雅弘, 平林直次	物質使用障害を併発した触法精神病例の薬物治療・心理社会治療	臨床精神薬理			印刷中(2007年4月刊行予定)
小山明日香、五十嵐良雄、田島美幸、小山智典、沢村香苗、伊藤弘人、樋口輝彦	抗うつ薬コンプライアンス尺度 (ADCQ) 日本語版の有用性に関する検討	臨床精神医学	35	217-224	2006
野口博文、小松容子、久永文恵	攻撃性の高い統合失調症のケースマネジメント	精神科治療学	21(8)	859-866	2006